

CA1
EA947
B71
#18
1990
DOCS

Canada News

Dept. of External Affairs
Min. des Affaires extérieures

18

1990年9月
ISSN 0912-0440

APR 3 1991

RETURN TO DEPARTMENT
RETOURNER A LA BIBLIOTHEQUE

発行 カナダ大使館 広報・文化部

ジェットロの在加日系企業実態調査/
「レポート・オン・ビジネス」調査から…… 3

大使館だより…………… 4

特集
カナダのスポーツグッズ…………… 5



スポーツは、カナダ人にとって3度の食事と同じに欠かせない生活の一部だ。それを反映して、スポーツ用品は多彩をきわめている。日本へも最近、アウトドアなどのグッズが次々と輸入され始めた。

TRADE INQUIRY…………… 9

トピックス/BOOKS…………… 10/11

カナダ文明博物館/アイマックスの
新映像システム…………… 12

カナダ大使館

〒107 東京都港区赤坂7-3-38
代表電話 Tel. 03-408-2101
トラベル・インフォメーション
Tel. 03-479-5851(直)
査証部 Tel. 03-403-9176(直)

カナダ総領事館

〒542 大阪市中央区西心斎橋2-2-3
第三松豊ビル12階
Tel. 06-212-4910 Fax. 06-212-4914

〔本誌中のドルは、特記しないかぎり、カナダドルです。〕

LIBRARY E A / BIBLIOTHÈQUE A E



クラーク外相が来日 太平洋地域の協力促進案を提起

ジョー・クラーク外務大臣が7月19日から24日まで、日本を訪れた。今回の訪日は日加外相定期協議に出席するためであったが、クラーク大臣は日本の国や人々に対する理解を一層深めたいとして、多忙の中を幕張メッセの大恐竜博を見学した。また、海部首相や土井社会党委員長を訪問して意見を交換したほか、日本外国特派員協会で講演を行った。

クラーク外務大臣は7月24日、東京・有楽町の日本外国特派員協会で講演し、カナダが太平洋国家の一員として安全保障や経済の問題に大きな関心を抱いてい

ると、述べた。

安全保障に関して大臣は、欧州における冷戦の終焉が、そのままアジアや太平洋地域での紛争終止につながらないとし、アジア太平洋地域に安全保障機構あるいは政治機構を創設する時期にきているのではないかと問題を提起した。

経済の問題では、太平洋の国々、とくに日本と新興工業経済地域が、産



外国特派員協会でスピーチを行なう。



恐竜博で盛んに質問する。



中山外務大臣との日加外相定期協議では二国間問題や最近の国際情勢が話し合われた。





クラーク外務大臣は、海部首相、土井社会党委員長とも会談した。

業界と積極的に対話することを通じて工業化や経済発展、あるいは統一を成し遂げたことを高く評価、「この地域には、他の経済地域が羨むほかないような、一定のナショナル・コンセンサスと質の高い国家的エネルギーが存在する」と述べた。

太平洋地域にはまだ経済調整機関がないことに関連して、クラーク大臣は、同地域の経済統合を進めるひとつの方法として、アジア太平洋経済閣僚会議（APEC）の拡大強化を支持した。

大臣はまた、APECの枠組の範囲内で次の措置をとることができると提案した。

●経済の構造調整と成長に関する特定問題を検討するために経済専門家からなる常任委員会の設立。

●一連の貿易問題ワークショップの設置。

●環境問題に関するリーダーシップの発揮。例えば、開発と資源保護の目的を両方も達成できるよう、先進国と発展途上国が行動面で協力する新しい基準を作るなど。

クラーク大臣は最後に、第二次大戦後の冷戦に端を発する東西二極世界がいまや分解し、その結果生まれた新しい世界が抱える問題を解決する過程で、太平洋地域が一

層の協力をする必要があると述べ、「太平洋コミュニティがもっと強くなり、もっと組織化されれば、こうした新しい世界を上手に運営していく上で役に立つはず」との確信をもっていることを表明した。

アルバータ州後援の恐竜博を訪問

滞在中、アルバータ州出身のクラーク外務大臣は、夫人と令嬢を伴い、千葉・幕張

メッセで開かれていた「日立ディノベンチャー'90大恐竜博」を訪れた。同恐竜博は、アルバータ州で発掘された恐竜の化石や恐竜時代の遺蹟を空輸して展示したもので、これまで日本で開催された中で最も規模が大きい。恐竜研究の世界的権威であるアルバータ州ドゥラムヘラーのティレル古生物学博物館が協力・後援し、学研やTBSが主催、日立が特別協賛して、実現した。クラーク大臣は、主催者側の案内で広い会場内を見て回った後、恐竜博が日加両国の相互理解を深める上で意義があった、と述べた。今回訪日の目的のひとつが、日本理解を深めることにもあったため、大臣は、恐竜博に隣接のアルバータ観光展で働くカナダの青年10数人と会い、一般の日本人がカナダにどんな印象をもっていると感じたかなどについて興味深く話を聞いた。



旧交？温めるサミット前夜の日加両首相

7月に開かれたヒューストン・サミットで、マルルーニー首相と海部首相は、個別会談を行ない親しく意見交換をしたが、サミット前夜のバーベキュー・パーティとロデオ大会でも、仲のいいところを見せた。

●健康と友情のフィット・トレック●

カナダとソ連が共同で体力づくり

左の写真でマルルーニー首相（右端）がモスクワの赤の広場で広げている幕は何か。カナダとソ連の市民が火星に向かってどの位の道のりを歩けるか、一緒にやってみよう……という、一風変わったスポーツ・イベントの開始を宣言しているのだ。

この共同イベントはフィット・トレックといい、毎冬行われる。フィット・トレックに参加する人は、毎日運動しなければならない。何の運動でもよい。20分間運動すると、1キロメートル歩いたことにする。

そして参加者全員の踏破距離をなるべく火星までの距離に近づけるのが目標だ。

1989年冬は、両国合わせて10都市の80万人が参加し、210億キロメートルを記録した。マルルーニー首相が（昨年末）モスクワで開会宣言した1990年のフィット・トレックには、22都市、1,500万を超えるカナダとソ連の人々が参加した。両国は気候だけでなく多民族国家である点も、スポーツ大好きな点も似ている。草の根のスポーツ交流も、カナダらしい試みではある。



昨年末、モスクワでフィットトレック1990の幕開きを告げるマルルーニー首相。



日系企業の進出が最も多いカナダ最大の都市トロント。

米加自由貿易協定発効から1年 製造企業は事業拡張に意欲的

ジェトロの在加日系企業実態調査

米加自由貿易協定は、在加日系企業にまだ顕著な影響を与えていないが、多くの製造業関連企業はこの協定を踏まえて事業拡大を計画している——ということが、ジェトロ(日本貿易振興会)の調査で分かった。ジェトロでは、同協定発効後1年が経過した今年の1月から2月にかけて、在加3事務所(トロント、モントリオール、バンクーバー)を通じて、本社および本社機能をもつ日系企業329社に調査表を送付し、250社から回答を得た。

ジェトロによると、これら329社のうち、192社(58.4%)はオンタリオ州、106社(32.2%)はブリティッシュ・コロンビア州に位置しており、両州が日本の対加投資の中心になっている。また進出時期について回答した243社のうち、153社が1980年以降に進出しており、「順調に増加傾向を示している」。形態は、回答企業250社のうち現地法人の本社が186社、日本法人の支店または事務所が43社、日系米国法人の支店または事務所が21社となっている。業種で多いのは電気・電子・オーディオ(29社)、銀行(24社)、商社(18社)、保険・証券(15社)、自動車部品(13社)、運輸(同)、重電・機械(12社)、自動車(同)など。80年代以前は商社やカメラ・事務機などの分野で進出が多かったが、それ以降は銀行、保険・証券、ホテル・不動産関連企業の進出が目立つ。

年間売上高について回答したのは177社、その総売上高は203億1,627万ドル(1社平均1億1,478万ドル)であった。

対米輸出について回答した企業は製造業28社と非製造業14社。そのうち対米輸出比が50%をこえる企業は、自動車メーカーと自動車部品メーカーが各3社、林業・紙パルプ・メーカーが2社、電気・電子・オーディオ・メーカーが3社もあった。

米加自由貿易協定の影響については、対米輸出比率に関して回答した122社のうち115社が特別の変化なし、3社が増加、4社が減少したと述べ、売上高は回答した製造

業43社のうち4社、非製造業162社のうち18社が増加したという(減少したと答えたのは製造業2社)。協定発効後に売上げが増えたと答えた企業は、電気・電子・オーディオ(5社)、自動車(3社)、自動車部品(2社)、運輸(2社)などだが、全般的に日系企業は協定の影響を顕著に受けていないという結果になっている。米加自由貿易を踏まえた今後の経営計画については、70%の企業が「特に新たな計画はない」と回答した。しかし製造業では逆に70%近くが自社工場の拡張 異業種・異分野への参入など 何らかの投資または事業拡張計画をもっていると

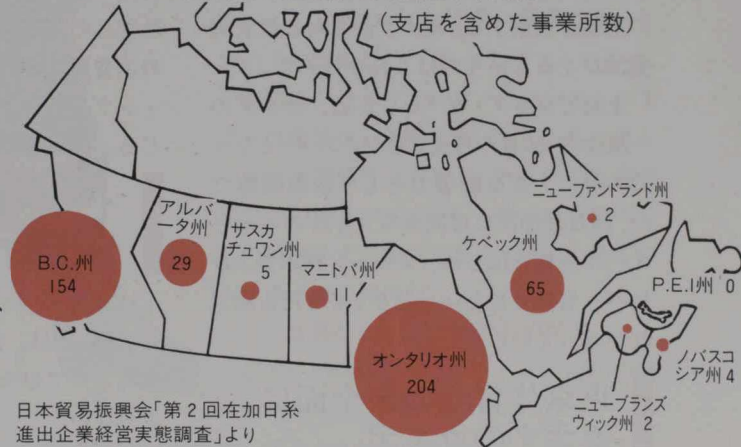
■カナダ企業トップ1000■

最大売上はGM、収益ではアルキャン・アルミ

売上で見た昨年のカナダ最大の民間企業は米系自動車メーカーのゼネラル・モーターズ・オブ・カナダ(196億5千万カナダドル)で、2位も同じく米系自動車メーカーのクライスラー・カナダ(82億千万ドル)。あと3つのカナダ系生命保険会社、食品流通会社、IBMカナダ社と続く。日本企業では、三井物産(12位)、ホンダ(23位)、伊藤忠(29位)、トヨタ(33位)、丸紅(39位)、三菱商事(40位)、住友商事(44位)などが上位に入っている——カナダの大手新聞社グローブ・アンド・メールが発行する雑誌『リポート・オン・ビジネス』の7月特集号「カナダのトップ企業番付1000」が伝えるカナダ企業の動向である。

公営企業では、ペトロカナダ(収入50億ドル)、ナショナル・レイルウェイ(国有鉄道)、カナダ・ポスト(郵政公社)、CBC(公共放送)、ヴィア・レイル(旅客鉄道)

在加日系企業の州別進出状況



いう。これは昨年の55%をはるかに上回っている。非製造業では、回答した商社16社のうち2社が営業網の拡張、5社が異業種・異分野への参入計画があると答え、協定発効後の事業展開に意欲的な姿勢を示した。

が売上面の最大手。

最大の収益を上げたのはアルキャン・アルミニウム(8億3,500万ドル)。ニッケルメーカーのインコ、電話会社のベル・カナダ、ウイスキー・飲料メーカーのシーグラム、ベル・カナダの親会社BCE、鉄道やホテル・チェーンなどを経営するカナディアン・パシフィック、トロント・ドミニオン銀行、新聞・出版のトムソン・コーポレーションなどが、それに続いた。日本でもよく知られているカナディアン・インベリアル・バンク・オブ・コマース、ノーザン・テレコム、ノランダ、イマスコ、フォード・モーターズ、マクミラン・ブローデルなども上位に入っている。前年と比べて収益が特に増えたのは、通信機器などの技術メーカー・ノーザン・テレコム、トランスカナダ・パイプラインズ、シーグラム、デニソン・マインズなど。

カナダから大型 対日投資ミッション

10月初旬、「カナダの経団連」 Business Council on National Issues のメンバー10数名からなる対日投資調査団が来日し、東京や関西その他の都市を訪れて、日本経済の実情を視察する。カナダから対日投資調査団がくるというのはこれが初めて。

上記ビジネス・カウンシルは、カナダの一流企業150社の社長などがメンバーとなっており、大きな影響力をもつ政策団体だが、訪日使節団には同カウンシルのニューオール会長をはじめ、ダキーン理事長、カルバー名誉会長といったそうそうたる顔ぶれが揃っている。

東京体育館の床全面に カナダのカエデ

新装なった東京体育館（東京・千駄ヶ谷）の床全面に、カナディアン・メープルが使われているのをご存じだろうか。メインアリーナとサブアリーナの両方の床合計約6,000平米に、黄白色の美しいカエデが敷き



東京体育館を訪れたテラー大使一行。

詰められている。カナダのメープル材は硬度、強度ともにあり、日本の気候に合わせた厳密な仕様に加工されている。ちなみにバルセロナのオリンピック体育館の床もカナダのメープル材という。東京体育館にメープルが使用されたことを記念して、テラー大使らがメープルの若木を体育館内庭に植樹している。

輸入関係者招き カナダ製品を紹介

例年、カナダ大使館は日本各地のトレードフェアにブースを出しているが、輸入関係者からもっと具体的な情報が欲しいという

要望が出ていた。そこで大使館は今後、こうした機会に関係者に個別に情報を提供していく

計画をたてている。第1回は北九州市で開催されるフードフェアの機会を利用した10月12日。地元商工会議所の協力を得て、招待客との対面インタビューに入る。カナダの消費財、食品、林産品の輸入コンサルティングを行う予定。対加投資の相談にも応じる。問い合わせは商務部・石黒まで。

イベント・ラッシュ バンクーバーの秋

バンクーバー（ブリティッシュ・コロンビア州）では、1986年エキスポで諸施設を充実させて以来、国際的イベントが引きもきらない。

この秋には、BC州が得意とするテーマで大きな国際展・会議が3つ開催される。①1990 Forest Sector Conference（9月26～28日）と Wood Expo 90及び Exfor-West（27～29日）。バンクーバーのB.C. プレース・スタジアムで。② INTER COMM 90（10月23～26日）。電気通信の現状と課題を討議する会議。③ Pacific Forums Opportunity 90（11月14～16日）②、③ともバンクーバー・トレード・コンベンション・センターで。

以上についての問い合わせは、在日ブリティッシュ・コロンビア州政府事務所まで。Tel. 03-408-6171。

オンタリオ州とBC州から 2つの文化イベント

カナダ西海岸の新鋭「バレエ・ブリティッシュ・コロンビア」が9月末、初来日し、東京・渋谷の青山劇場で公演の幕を開ける。演目は、ウィリアム・フォーサイスやジリ・キリアンの作品に基づいたユニークな構成で、芸術監督はバリー・インガム。とき■1990年9月28日（金）夜7時、29日（土）午後2時、夜7時、30日（日）午後2時 ところ■青山劇場（東京・渋谷）問い合わせ先■こどもの城・事業本部 Tel. 03-797-5678。

同バレエ団は10月2日、大阪フェスティバルホールでも公演する。



バンクーバー・トレード・アンド・コンベンションセンターのあるカナダ・プレースは、白い帆船を模した美しい建物で、バンクーバーの新名所。

一方、トロントのアーティスト、ブライアン・ボイゴンは、昨年来日した東京の印象をもとに映像情報による巨大なコラージュ作品を制作、「ブライアン・ボイゴン／東京速読」と銘打った展覧会を開催する。とき■1990年9月18日～10月20日月曜休館 ところ■東長寺地下（東京・四谷）問い合わせ先■P3オルタナティブミュージアム 東京 Tel. 03-353-6866。

冬のカナダの魅力 今年から合同キャンペーン



カナダの冬はスキーを初め、さまざまな魅力の観光シーンがある。カナダ大使館トラベル・インフォメーション

では毎冬“ビッグ・スキー・カナダ”のキャンペーンを行なってきたが、今年はそれを拡大して Winter Wonderland Canada をテーマとするキャンペーンを各方面の関係者と合同で展開する。トラベル・インフォメーションは、統一ロゴ（上）を作成して旅行業界の冬の企画を支援している。

主なカナダ関係行事日程

- 9/18～10/20 ブライアン・ボイゴン／東京速読（記事参照）
- 9/21～28 ホテルオークラ・カナダフードフェア
- 28～30 バレエ・ブリティッシュ・コロンビア公演（記事参照）
- 21～10/20 ホテルアルファ・サッポロ・カナダフードフェア
- 10/1～31 丸の内ホテル・カナダフードフェア（東京ジョンプル）
- 3～8 輸入品展・なごや'90（名古屋市岩田屋百貨店（福岡）カナダフードフェア 中小企業振興会館）
- 5～14 '90 西日本国際見本市（北九州市・西日本総合展示場）
- 10 カナダ教育フェア（大阪・カナダ総領事館）
- 11～13 第2回世界ファッション・フェア（大阪）
- 15～16 北米フィルドブルーベリー協会の展示（大阪・カナダ総領事館）
- 16～18 ネットー社レザー・ショー（大阪総領事館）
- 31～11/2 カナダビーフ輸出連合会の展示とアモ（大阪・カナダ総領事館）
- 11/21～25 '90 ワールドフェアひろしま（広島市総合展示館）



ローイング・マシン (ALTERO TECHNOLOGIES INC.
19670 Landmark Way, Langley, B.C. V3A 7Z5)。



Bobby Smith

クーパーブランドで活躍するアイスホッケーのスター選手ボビー・スミス
(写真提供=大昭物産株)

特集・カナダのスポーツグッズ

日本で次々登場 アウトドアグッズやレジャーボート

日本で最近、カナダのスポーツ用品、レジャー用品が多く使われだした。大はキャンピングカーやレジャーボートから、小はニットウェアやブーツにいたるまで、カナダらしいユニークな製品である。

カナダ人はスポーツを冬も夏も一年中楽しむ。幼いときから、アイスホッケーやスケートや水泳に熱中し、長じてはサイクリングやヨットやスキーが待っている。家族でキャンプも、ごく当たり前。そしてそれらを可能にする社会的条件、インフラストラクチャーが整っている。

スポーツ用品産業の成熟も、そうした条件のひとつだ。ここ20年で、カナダのスポーツ用品生産は10倍になり、カナダ・スポーツ用品協会に所属する業者数も2,000を超えた。輸出は、全生産の5分の1に達し、伝統的な氷雪スポーツ関連品から、ゴルフやボート、アウトドアなどへと、輸出品目が広がっている。カナダ国内の多彩なスポーツ需要が、業界の多様化と新製品開発熱を支えている。(ここに紹介する会社や製品は、代表例である)

生産の約半分を占める夏用品

カナダのスポーツ用品を季節ごとに分けると、夏のスポーツ用品が、品種も生産高も意外に多い。ウェアとキャンプ用具を除いたスポーツ用品生産高の49%はサマースポーツ関連である。野球、フットボール、ゴルフ、釣り、サイクリング、水泳などがそれで、特に自転車、水泳(プール設備)、ゴルフがサマースポーツ用品の3大品目である。

自転車は、2人乗りや足漕ぎ四輪車など変わり種自転車のメーカーが近年増えてきているのは、レジャーとしての自転車の楽

しみ方が多様になってきたためだろうか。

冬の王者はスケートとホッケー

2番めに生産高が大きいのは、ウィンタースポーツ用品で全体の28%。これにはスケートやアイスホッケー、スノーボード、スキーなどが含まれる。冬の王者は、やはりアイススケートとアイスホッケーで、冬用品全体の8割を占める。クーパーやパワー、CCMといった世界一流のブランドがいくつかある。

季節にかかわりないオールシーズンスポーツ用品は、全体の約13%。これはフィットネス関係やジム用品、あるいは児童遊園などの遊具が主。スキーやゴルフやボートの練習をする室内器具がいろいろあるのも、カナダの特徴だ。

活発なアウトドア用品の開発

最近の動向として、アウトドア用品の開発が活発なこと、スポーツウェア(フットウェアを含む)のファッション化ないし汎用化があげられる。アウトドア関係ではキャンピングカー、テント、釣り用具。とくにヨット、モーターボート、カヌーは、愛好者が増えるにつれて、メーカーも増え、製品開発も盛んになっている。日本への輸出意欲も盛んだ。カナダのレジャー船は、レーザー(8頁参照)のように簡便で価格も高くなく、誰でも手軽に楽しめるものから、高級装備のモーターボートに至るまで製品ラインが豊富である。

輸出の7割は米国へ

カナダが生産するスポーツ用品のうち、輸出向けは2割。主な輸出品目を表にあげたが、約7割が米国、2割が西欧(ECは14%)、対日輸出は2%にすぎない。

輸出品のうち、37%がアイススケートとアイスホッケー関連で、“氷上スポーツな

主なカナダ製スポーツ用具の輸出状況(1989年)

(千ドル)

用具品目	輸出額合計	対米国	対西欧	対日本	対豪/NZ	その他諸国
アイススケート	27,573	16,930	5,872	851	93	3,827
アイスホッケー(ヘルメットとグローブを除く)	16,244	13,000	2,481	406	156	201
同スティック	16,217	12,314	3,268	600	25	10
ジム/フィットネス	20,290	10,351	6,327	84	2,608	920
自転車/部品	15,075	3,478	11,067	50	66	414
クロスカントリースキー	5,830	4,674	255	674	219	8
ゴルフ	2,624	2,075	206	169	152	22
水上スキー/セールボート等	2,085	1,768	31	192	-	94
フィッシング	1,102	712	218	25	59	88
その他	54,197	46,094	5,444	837	812	1,010
合計	161,237	111,396	35,169	3,888	4,190	6,594
全体に占める割合	100%	69%	22%	2%	3%	4%

注 プール設備は上記統計にないが、推計1500~2000万ドルが米国に輸出されている。



家族で遊べる「ペリカン」 ▼▲(写真提供=榊長崎)



豪快かつ安全性の高い水上バイク「シードゥ」(写真提供=伊藤忠株)



本格派ホーバークラフト「スターシップTX500」



▲デラックスなスポーツクルーザー「カバルク」(写真提供=三井物産株)



▲アウトドアに最適な下着「CMHオリジナル・アンダーウェア」(写真提供=CMHジャパン株)

らカナダ”の伝統は依然として生きています。2番めに大きい輸出品はフィットネスやジム関連で13%。それに続くのが、自転車とその部品である。

日本の海を走るカナダ製ボート

最近、日本の海でカナダ製のレジャーボートをよく見かけるようになった。マホガニーと積層ガラスファイバーをCAD技術で仕上げたデラックスなスポーツクルーザー「カバルク」(問い合わせ先・三井物産株 関西支社・物資部マリネレジャーチーム Tel. 06-226-3581)。伊藤忠商事が輸入しているのは、ウォーターバイク。カナダの輸送機器のトップメーカー・ボンバルディエ社の「シードゥ」がそれで、ROTAX エンジンとフォーミュラ・ジェットポンプとセミカットVボディの組み合わせにより高性能と安全性を実現した。3人乗りもある。(問い合わせ先・伊藤忠商事(株)産業機械第二部 Tel. 03-497-2381)。

ホーバークラフトの本格派「スターシップTX500」を輸入しているのは、榊長崎。宇宙船をイメージしたデザイン、ROTAX

エンジン搭載、浮上高20センチ、最高時速80キロ以上の高性能船で、カナダのウィンドライダーズ社製。平坦な場所なら雪上や草原でも走れる。長崎では、のんびり派には「ペリカン」ペダルボートを奨めている。1人乗りから定員4人のファミリータイプまで。楽しいデザインとアイデアを搭載した水上散歩型レジャー用品だ(問い合わせ先・榊長崎・マリネ事業課 Tel. 03-351-2122)。このほか、富源産業株(Tel. 03-214-2461)でも、ドーラル社やクーパー社のモーターボートを輸入している。

アウトドアは今後の有望分野

アウトドア用品も、ぼつぼつ日本へやってきはじめた。世界的に有名なブランド・ブーツ「ソレル」は、1世紀近い歴史をもつフットウェアの名門カウフマン社が創ったもので、ボトムにラバー、アッパーにレザー、そしてライナーには耐寒用ウールフェルトを組み合わせた高品質のブーツであ



アウトドアに簡便なテント「サンシェル」(写真提供=三菱商事株)

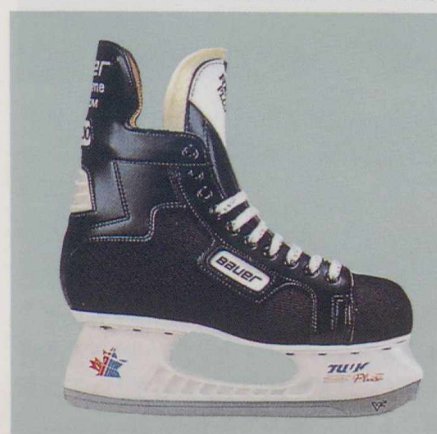
る。1963年の発売以来、世界26か国に2百万足以上売れたヒット商品となった。日本には1980年から輸入されている(問い合わせ先・大倉スポーツ用品販売株 Tel. 03-635-2911)。

昨今は紫外線カット商品が大ヒットだが、海や山で簡単にセットできる簡易テント「サンシェル」を輸入しているのは、三菱商事だ。バンクーバーのサンシェル・デザインズ社の特許製品で、日除けのほか、ちょっとした風や砂嵐を避けるのにも有効。重さ2キロ、たたむと長め



アイスホッケーのゴールキーパーは重装備。

▼▲(写真提供=大昭物産株)



パワー・ブランドの最新型ホッケー靴。

の雨傘ほどだから、大抵のところには持ち運べる(問い合わせ先・三菱商事(株)自動車第四部MC自動車用品チーム Tel. 03-210-4503)。

モーターキャビンで最近輸入が報じられたのが、オカナガン社のトラックキャンパー「トラベリーゼ」。手持ちのトラックにジャッキアップで簡単に装着できるキャビンで、1トン車用と2トン車用があり、大人3人が宿泊可能。(問い合わせ先・三協フロンテア(株)特機事業部 Tel. 03-891-8882)。変わり種は、保温性抜群の下着「CMHオリジナル・アンダーウェア」。カナダにおけるヘリスキーの大手CMH社が開発したもので、同社の日本子会社CMHジャパンからこの夏発売された。100%クロロファイバー・ダブルニットを採用、最小限の吸湿性と最大限の保温性をもつ。カナダの空軍パイロットや山岳家にも愛用されているというし、この種のウェアは厳寒下でスポーツをする場合の必需品といえるかもしれない(問い合わせ先・CMHジャパン株 Tel. 03-351-4780)。



カナディアン・ニットウェア社のセーター。



数年前にトロントで行われたカーリングの世界選手権試合の「コマ」(写真提供=スポーツ)



アメリカでも大人気のカウフマン社製ブーツ「ソレル」(写真提供=大倉スポーツ用品販売株)

アウトドア用品は、豊富な経験に加えて現在開発が進んでいる分野だけに、今後ユニークな製品が次々と現れる可能性があり、日本への紹介が期待される。

以上は比較的最近の対日輸出品だが、カナダがいわば他の追随を許さない分野、つまりアイスホッケーなど水上スポーツ用品では、日本はかなり輸入歴をもっている。

伝統の水上用品は地道な伸び

アイスホッケーやアイススケートでいえば、大昭物産が30年近い輸入の実績を積んでいる。同社は日本にまだ満足なアイスホッケー用具がない頃、カナダの世界的ブランド、「クーパー」の防具と「パワー」のスケートを導入し、スポーツ自体の普及にも協力してきた。今日でも、クーパーやパワーの製品は、毎年最新版が日本に提供されている(問い合わせ先・大昭物産株営業センター Tel. 03-453-1871)。

アイスホッケーと同じように、競技自体が企業の献身的協力を得て、日本に普及してきたのが、カーリングである。その中心が(株)スポーツ・カナダで、同社が輸

入紹介したカナダのゴールドライン社の用品は、現在でも日本のカーリング界の中心を占めている(問い合わせ先・(株)スポーツ・カナダ Tel. 03-501-8904)。

まだまだあるユニークな製品

カナダのスポーツ用品を最近日本に輸入されたものを中心にざっと紹介してきたが、まだまだ紹介せずにはおれないような興味ある製品がある。2、3上げると、水泳やラケットボール用のアイ・プロテクターでオリンピックの金メダリストにもよく使われているリーダー社の製品(LEADER SPORT PRODUCTS INC. 1280 Nobel, Boucherville, Quebec J4B 5H1 Tel. 514-641-4480)。昔からカナダの家庭の必需品だったかんじき「フェバー・フリートレール」(FABER AND CO. INC. 180 de la Rivière Boulevard, Loretteville, Quebec G2B 3W6 Tel. 418-842-8476。激しい運動中でも正確な腕時計式心拍計「テレパルス」(BIOSIG INSTRUMENTS INC. 5471 Royalmount Avenue Montreal, Quebec H4P 1J3 Tel. 514-733



2人乗り自転車 (BUDDY BIKE INC. 201-77 Mowat, Avenue, Toronto, Ontario M6K 3E3)

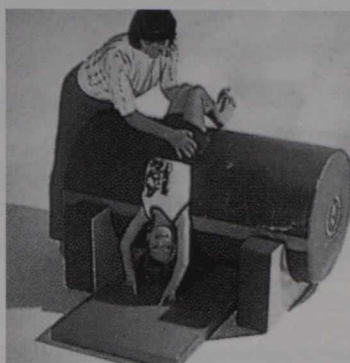
クラシックカー風の2人乗り自転車 (GENERAL SPORTCYCLE CORP. P.O. Box 30165, Station "B", Calgary, Alberta T2P 4P1)



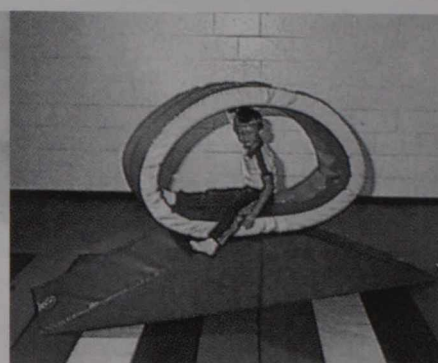
リーダー社のアイプロテクター。

-3362)。学校やリハビリ訓練所などで運動の衝撃を和らげるマット (APPLE ATHLETIC PRODUCTS INC. P.O. Box 2265 Orillia, Ontario Tel. 705-325-6455)。カナダらしいデザインと純良素材のセーター (CANADIAN KNITWEAR INC. Airport Industrial Park, #8-4751 Shell Road, Richmond, B.C. V6X 3H4 Tel. 604-278-5538)。キャンプや海水浴に便利な

アップル・アスレチック社のマット。



太陽熱利用の簡易シャワー (RELIANCE PRODUCTS LTD. 1093 Sherwin Road,



Winnipeg, Manitoba R3H 1A4 Tel. 204-633-4403) などがある。

カナダ人のスポーツ暦

カナダのスポーツの季節の幕開けをいつといつたらいのだろう。秋が深まる10月になると、ナショナル・ホッケー・リーグ (NHL) 戦が始まる。このプロ・リーグ戦は、北米21のチームで争われ、このうちカナダのチームは7つ。エドモントン・オイラーズと、モントリオール・カナディアンが、圧倒的に強い。NHL戦は、カナダだけでなく米国の各地を転戦するが、その間、人々はテレビやラジオの中継にかじりつく。

子供たちは、子供リーグ戦で忙しい。多くの町は子供チームをもっており、週末ともなると、朝まだ暗いうちから町同士の試合が始まる。少年だけでなく、少女のプレーヤーもあの重装備でプレーする。アイスホッケーは、日本の剣道のように道場があって、たくさんの子供たちが通っている。日曜の夜に町のアリーナで行われるのは、高齢者のリーグ戦である。

アイスホッケーの季節は冬を過ぎ、優勝のスタンリー・カップの行方が決まる5月まで続く。

NHLや老若男女の巷のリーグ戦がたけなわの時期は、スキーやスケートの時期でもある。山岳スキーの豪快な滑降もあれば、仲間や家族でツアーするクロスカントリースキーも盛んだ。クロカン・トレールが、森や田畑をぬけて縦横に設けられている。スケートは、靴を用意するだけででき

るだけに、カナダ人にとっては朝飯前のスポーツだ。設備の整った屋内で華麗なフィギュアをやる人口も少なくないが、例えば凍ったオタワのリドー運河で押し合いへしあい滑るスケートも冬のカナダの名物だ。カナダの冬は、水泳の季節ということをし

夏は野球にアウトドア
冬は氷雪スポーツと水泳



世界中に愛好者がいる帆船「レーザー」

ご存じだろうか。スイミング・コンペがあちこちで行われる。屋内プール設備がよく発達していて、こうした環境の中から、アレックス・ボーマンなどたくさんのオリンピック・メダリストを輩出している。

ホッケー・リーグ戦が終盤に近づく4月ともなると、プロ野球の季節に入る。これにも国中が沸く。アメリカン・リーグではトロント・ブルージェイズが1、2位を争うし、ナショナル・リーグではモントリオ

ール・エキスポが上位で健闘するからだろうか。もっとも選手は、日本のプロ野球と同じにアメリカ人が多く、巨人のクロマティ選手もかつてモントリオール・エキスポにいた。プロが盛んなら、アマチュアや草野球も当然、盛んである。

カナダのスポーツで圧巻の季節は、何といっても、夏だろう。短いがゆえに一層きらめくような夏の間、西海岸や東海岸、そして無数にある湖水での水泳、セーリング。ここ数年は、モーターボート熱が高い。ディンギーの1種で、1970年代の初めにカナダ人のカービーさんが開発した「レーザー」と呼ばれる簡単な1人用のセールボートなら、1日の仕事が終わってからヨットハーバーに駆け付け、暗くなるまで数時間楽しめる。日本でも、湘南などでこのレーザーを見かけるようになったが、カナダでは愛好者が数十万はいる。夏は若者にとっては、水のスポーツのほかに野球、サッカー、陸上、ラグビー、ゴルフ、カナディアン・フットボール……など枚挙に暇がない。子供にとってもそうだ。家族ではキャンプ。中高年ならゴルフやテニス。

最近では、アウトドア・ライフをいろいろな風を楽しむようになっている。大自然の中で、自然を壊さずに楽しむ“工夫”を楽しんでいるようなところもある。

カナダ人にとってスポーツとは、3度の食事と同じようなものである。

TRADE INQUIRY

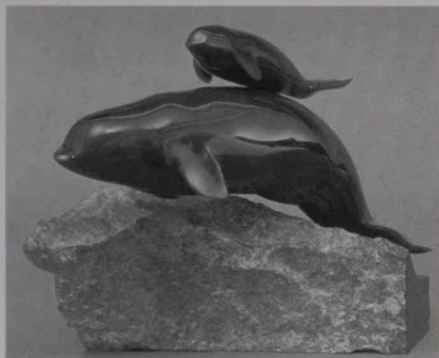
ここに紹介するのは、日本と新たに輸出、輸入あるいはその他の提携関係を希望するカナダの企業や自治体です。これらの件についてご関心のある方は、カナダ大使館の各担当者（担当者が不在の場合は商務部レジストリー・小林）、または直接現地へお問い合わせ下さい。

ひすいとマストドンの彫刻置物

Sculptures Canadiana

28 E Pender St., Vancouver, B.C. V6A 1T1
TEL. 604-682-8080

深い森の湖の静けさを秘めたひすいと、柔らかい温もりを漂わせるマストドンが、世界有数のひすい彫刻家デービッド・ウォンの手で見事な卓上彫刻になった。



70年代初めにバンクーバーに移住した中国生まれのウォンは、カナダの鳥や魚をモチーフに、カナダ産の天然ひすいや、なめらかな肌合いのマストドンに命を吹き込む。素材のもつ深みに高度な技術を加えて生み出される1点1点は、リズム感あるイルカやアザラシの群像、クマやフクロウの姿となって芸術性高い製品に仕上げられている。

美術館に買い上げられたものも多く、価値ある贈り物によく使われる。最近素材にとり入れられたマストドンはユーコンやノースウェスト準州で掘りだされたもので、他にない味のある作品を作り出している。

(消費財担当・金子)

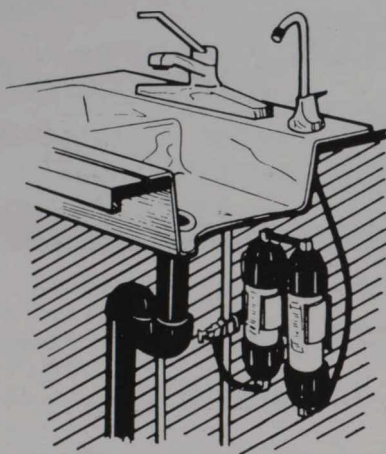
2段式カートリッジの浄水器

Wellspring Canada Products

(A Division of RCG Holdings Ltd.)
#2-1925 Kirschner Rd., Kelowna, B.C.
V1Y 4N7 TEL. 604-861-3213

“水道の水がまずい！”都市生活者の多くが嘆いている水の味の問題を、流しの下に簡単に取り付けられる浄水器が解決した。蛇口でなく、シンクの下に取り付けられるため、邪魔にならない。

浄水システムは2段式。第1のカートリッジに内蔵した5ミクロンのフィルターが



各種沈殿物、泥や砂つぶ、水垢などを濾過し、第2カートリッジの銀含有の活性炭が細菌の繁殖を防止し、嫌な味や色、臭い、化学物質（塩素など）を取り除く。例えば MODEL PL1002の場合、カートリッジの浄水能力は約3年、または1万7,000リットル。設置後30日間なら返品可。家庭やオフィス、学校、病院、レストランで、幅広く使用できる。

(消費財担当・金子)

超短波の放送中継器

Canadian Microwave Distribution Systems Ltd.

101-1 Wesley Avenue,
Winnipeg, Manitoba R3C 4C6
TEL. 204-942-5616

小さな町村にも大都市と同じようにケーブルテレビ網を、しかもコストをかけずに設置できないものか。この問題を解決するものとして開発されたのが、低出力 Multi-channel Microwave Distribution Service (L MMD S) システム「チャンネルビュー2000」。

この中継器1台で8チャンネル分の画像・音声信号を、周囲10~20キロメートル域内のテレビ受像機へ中継できる。ケーブル架設を必要としないから低コストで簡便に使用できる。

シグナル・ソースは、音声・データ伝送はもちろんのこと、衛星の受信でも、有線

でも、VTRカメラ、信号発生器でも可。システム構成はニーズに応じて柔軟、あらゆる放送標準に適應できる。

(先端技術製品担当・佐治)

卓上クリスタル・アクセサリ

Riversol International Co., Ltd.

44 Castlebury Cres., Willowdale, Ontario
M2H 1W6

Contact: Sadayoshi Sawahata,
Vice President
TEL. 東京 03-209-3649

透明なクリスタル半球の中に、たんぽぼの綿毛や草の種など繊細な自然の産物を封じ込めた卓上アクセサリ「タラックス・インフィニティ・コレクション™」。知る人ぞ知るで、カナダのアーティストや一般の人に静かな人気を呼んでいる。

オンタリオ州マーカムの工芸家T・M・クラークが、草深いグランド・バレーの工房で特殊技術の職人を使って制作している。ペーパーウェイト、ろうそく立て、置物など各種あり、いずれも水晶体を通して



不思議に美しいオブジェが浮かぶ。自然界の植物を閉じ込めた「ネイチャーシリーズ」とイメージ表現の創作「ファッションシリーズ」は、タラックス・インフィニティ・プロダクツが制作販売している。そのほか、ホールインワンの記念にゴルフボールを封入するなど、オーダー制作も可能。

吸い付くような感のクリスタル素材は、特製「ポリクォーツ™」。独特の封入技術は特許を取得している。

(消費財担当・金子)



(写真提供=芦別市役所)

カナディアンワールド(北海道)がオープン 赤毛のアンの世界と19世紀カナダを再現



3年前から準備・建設にかかっていた芦別市のテーマパーク「カナディアンワールド」が7月末、開業した。

メインゲート「ケンジントン駅」をバスポートを見せて入ると、広々としたラベンダー畑や森や湖があり、「赤毛のアン」の世界を中心とする19世紀カナダの施設群が点在している。森や草原が十分育ち、湖水に影を落とすにはまだ

月日が必要だが、グリーンゲールズや郵便局など、全部で26棟が完成。ガラス細工やキルト、インディアンやイヌイットの伝統工芸、料理なども体験できるし、カナダ製品のショッピングも楽しめる。

オープンに際してはカナダ政府、プリンス・エドワード・アイランド州政府、シャーロット・タウン市から多数の代表者が出席したほか、カナダからいろいろなクラフツマンや芸人がやってきて参加者の目を楽しませた。

カナディアンワールドは、総面積156haで今回オープンしたのは第1次計画の48ha。2次計画でリゾートホテル建設などを計画。総事業費76億円。事業主体は第3セクターの(株)星の降る里芦別。(Tel.01242-8-2231)

環境汚染を簡単に早期発見 ストレス・プローブで異常を探知



環境汚染防止は、いわば泥棒に入られてから縄をなうのに似ている。気づいたときは、すでに植物や動物に被害がでている。しかし、ブリティッシュ・コロンビア州にあるCB Research International Biotechnologies社が特許を得た“ストレス・プローブ”によって、環境汚染を早期予知することが可能になった。

細菌から人間まですべての有機体は蛋白質を合成するが、高温、毒性化学物質の存在、酸素の欠乏といった“ストレス”状況のもとでは蛋白質を多く生成するという特性がある。プローブは、このストレス蛋白質を探知することによって、環境に何らかの異常が起きていることを察知する。これまでは汚染の確認に化学分析法が使われているが、費用も時間もかかる。しかしこのストレス・プローブでは、毒素に対する有機体の生理的反応を測定するので汚染物質が微量でも、簡単に探知できる場合が多い。このプローブを使って現場で使用するキットを開発中だが、それだと1サンプル5ないし10ドルほどでテストできるという。ただし原因物質を突きとめるには、この後、化学分析が必要だ。

このように簡便なプローブの開発によっ

て、環境チェックが簡単にできるだけでなく、化学工場で働く労働者のように汚染の害を受ける可能性のある人々も白血球のストレス反応を調べれば、毒性物質にさらされているかどうか容易に判明する。ストレス反応が血圧のように簡単に調べられる日も近い、と関係者は見ている。

(CB Research International Biotechnologies Corporation, 101-9865 West Saanich Road, P.O.Box 2010, Sidney, B.C. V8L 3S3)

カナダへの国際電話が再び値下げ 国際デジタル通信が口火



カナダの電話がまたまた安くかけられるようになった。国際電話料金はこの春、国際デジタル通信(IDC)が口火を切り、これにKDDが続いて、約35%の大幅値下げとなったが、IDCは再び値下げに踏み切った。9月1日からカナダへの国際自動電話は、全般に利用しやすくなった。実施されているIDCの新料金はこの通り。今回、カナダへの通常料金(3分間)の割引率は、3.6%。3分間通話は、通常料金で810円、割引料金で660円、特別割引で480円。IDCは国際通信の自由化に伴って発足したいわゆる第2KDDのひとつで、ノーザンテレコム(米国)の高度交換機やベル・カナダ・インターナショナル社の網管理システムなども取り入れたりし

て、国際電話サービスや国際専用線サービスなどの高度化を盛んに進めている。

NHKとTVオンタリオが協力協定 番組交流だけでなく共同制作も



日本のテレビ局とカナダのテレビ局の協力提携がふえてきた。

日本放送協会(NHK)は4月末、オンタリオ州の公共放送機関、テレビオンタリオと、番組交流、取材協力、衛星中継協力、スタッフの交流、共同制作を進める内容の協定を結んだ。NHKがカナダのテレビ局と協力協定を結んだのは、これが初めて。

テレビオンタリオは、優れた教育番組をつくることで定評がある。NHKとはこれまでに「第三の波」などを共同制作しており、現在は環境をテーマにした“*Our Beautiful Planet*”が進行中だ。

民放でも日加間の協力が進んでいる。広島ホームテレビはモントリオールのCFCF12(カナダ最大の民間テレビネットワークCTV系列局)と4月、姉妹局提携を結び、ニュース素材の交換や共同制作を目指した態勢を整えた。

そのほか民放でカナダのテレビ局と協力関係を結んでいる局(4月現在、民放連調べ)をあげると、北海道放送=アルバータ州サンワブタ放送、北海道テレビ=バンクーバー・CKVU-TV、岩手放送=ピク

トリア・CHEK-TV、広島テレビ=バンクーバー・CKVU-TV、東海テレビ=トロント・ベイトン放送、関西テレビ=ブリティッシュ・コロンビアTV。

オーケストラのど真中で聴く感じ 新しい立体音響「Qサウンド」

音のさまざまな要素が宙に舞って四方八方から迫り、まるでライブ・オーケストラのど真中で聴いている感じ……。しかも、普通のステレオやテレビでも、立体感あふれる音響が楽しめる。

これが、アルバータ州カルガリーのアーチャー・コミュニケーションズ (Archer Communications Inc.) が開発した「Qサウンド」による立体音響だ。立体音響は、すでにマルチスピーカーや、音響プロセッシングによるものなどが存在するが、同社によるとQサウンドは音響効果や音響イメ

ージだけでなく、応用性などの点で他のシステムよりはるかに優れているという。

すでに任天堂がビデオゲームの音響効果を高めるため340万ドルのライセンス契約(仮)を結んだほか、コカコーラ社はコーシャルの音響をよくするために今年からQサウンドを使う契約を結んでいる。テレビ、レコード、映画、玩具、その他の商品と、Qサウンドの応用範囲は広い。

骨粗しょう症にフッ化ナトリウム トロント大学で悪化防止に成功

多くの女性(一般の男性も)は、高齢化すると骨がもろくなる骨粗しょう症にかかりやすい。更年期を迎えて、女性ホルモン・エストロゲンのレベルが下がり、骨組織のカルシウムが減るからだ。骨粗しょう症がひどくなると、ちょっと握っただけでも骨が折れることもある。

トロント大学のティモシー・マーレイとジョーン・ハリソンを中心とする医療研究陣は、過去4年間、フッ化ナトリウムを使って脊椎の骨質を元に戻し、骨粗しょう症の悪化を食い止める研究を続けてきた。その結果、錠剤にしたフッ化ナトリウムを摂取することによって、閉経した女性61人の脊椎が26.2%も強化された。とりわけ65歳以上の女性に最大の効果が見られたという。フッ化ナトリウムは、歯を強化し、虫歯を防止するために、練り歯磨きや飲料水に少量添加されている。トロント大学の研究陣は、それよりはるかに多い1日当たり平均44ミリグラムを患者に与えた。相手により摂取量を変えることによって、患者の8割に効果があったという。今後は効果が安定するか、あるいは元に戻るかを確認する作業に入るが、来年初めまでには長期的効果についてのデータが得られる見込み。

■「30万円/月で黄金の日々」定年後の快適ライフのすすめ 稲垣長映著 (小学館、1990年 定価1200円)

普通のサラリーマンが定年を2年後に控えたある日、第二の人生を趣味の戸外スポーツを夫婦で楽しみながら送るにはどうしたらよいか、ひとつ実行してみようと思いつく。バンクーバーを選ぶに至った経緯、永住権取得のハードルをいかに越えたか、現地のマンション選び、食費の詳しい調査などから始まり、移住後の快適生活の記述まで、日記や詳しいメモをもとに、具体的に紹介している。海外移住を考えている人に役立つと同時に、読み物としても面白い。

■「極北のおもいで」ノルミー・エコーミャク作 岸上伸啓監修 大窪一志訳 (リポート、1990年、定価1339円)

「……私はだれでしょう。私はイヌック(人間)です。……すべてをおぼえています。陸に住む動物や鳥、魚、海に住む動物、こうした生き物すべての精霊を私知っていました。彼らのことをしゃべることもできました」どこまでも引用を続けたいほど、静かで不思議なイヌイト(イヌイトは

BOOKS



昔、他民族からエスキモーと呼ばれたが、彼ら自身、これを嫌い“人間たち”という意味のイヌイトが正式名称となっている)の物語をつづった絵本である。

エコーミャクは32歳。耳の不自由な北ケベックのイヌイトで、祖父から習ったアプリケと刺しゅうを使い、素朴で清らかな絵を展開する。厳しい自然の中の生と死を泰然と受け入れた所に自ずから生まれ出た作品といえようか。頁をめくるとイヌイトの伝説、生活、生い立ちが現われる。色彩がまた、美しい。

■「侍女の物語」マーガレット・アトウッド著 斎藤英治訳 (新潮社、1990年、1800円)

長い間待たれていた、世界的に有名なカナダの女流作家アトウッドの作品の初邦訳。カナダやアメリカをはじめ、英語圏で大好評を得て、映画化もされた。

20世紀末の独裁神権政治国家ギレアデ。アメリカ合衆国とおぼしき国でクーデターによって生まれた姿なき政権のもとで、人々は思想や行動を完全に管理されている。ここでは核戦争や枯葉剤、エイズなどのせいで健常児の出生率が急減し、一部の女性が、子供を生む道具として収容されている。物語は、こうした女(「侍女」)の一人の体験を通じて展開する。

『侍女の物語』(The Handmaid's Tale)はジョージ・オーウェル『1984年』に続く終末的未來小説として高く評価され、カナダ総督賞、ロサンゼルス・タイムズ賞など数々の賞に輝いている。

アトウッドは、女性の疎外などをテーマに独特の文体で小説、シナリオ、児童文学、文芸批評などに活躍している。

オタワの新名所

カナダ 文明博物館

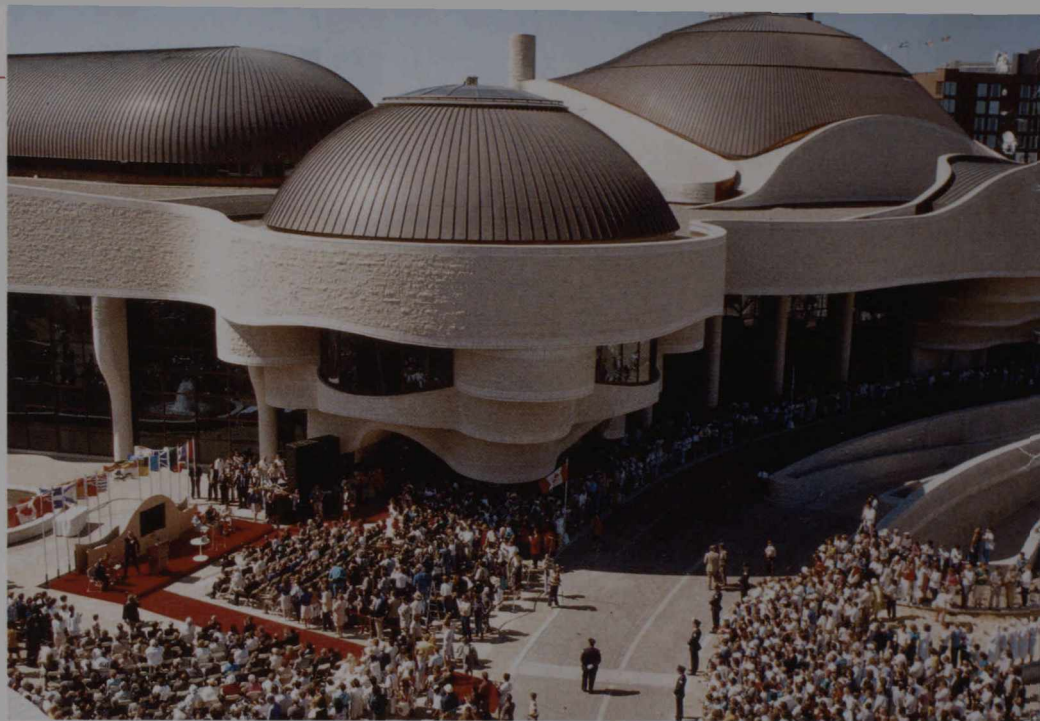
カナダの歴史と文化を一堂に

オタワ・ハル首都圏に、新しい名所が誕生した。オタワからハルへ行くアレクサンドリア橋を渡ったところに建つカナダ文明博物館 (Canadian Museum of Civilization) が、それである。

まるで、巨大な石造彫刻のようにきれいな曲線を描くこの文明博物館からは、オタワ川の彼岸の丘の上にそびえる連邦議事堂が目の前に眺望できる。

カルガリー出身のダグラス・J・カーティナルが設計した文明博物館は、かつてオタワ市内にあった国立人類博物館を移転・改築したもので、展示棟の氷河館 (展示面積16,500平米) と保管・管理棟のカナダ楕円地館からなる。

展示棟には、常設の大ホール、歴史ホー



Harry Foster

ル、児童ホールおよび大画面映画館「シネプラス」のほか、「インディアン・イヌイット美術館」や「芸術・伝統ホール」などのある短期展示用の広いスペースが設けられている。

大ホールは、博物館の中心ともいえるところで、先住民の舟をかたどって楕円状に広がり、巨大なガラス壁を通して連邦議事堂が見える。

大ホールを抜けて上階へ進むと、ドーム形の屋根の下に、実物大のセットによってカナダ史が展開する。ノースメン (バイキング) の到来、フランス植民地時代の生活、開拓以前の西部、19世紀後半のカナダの造船所や中心街などが、当時そのままに再現され、タイムトンネルを通過する気分

だ。児童ホールは、子供たちが遊びながら学べるところで、ホール内につくられた8つの国の入国管理をすませ、通貨を交換しながら訪れる「世界観光バス旅行」、世界中のおもちゃやゲーム、衣装などを通じて他の文化と接触する「探険の広場」、「工作の広場」などが楽しめる。

シネプラスは、普通の10倍の大きさのスクリーンを使うアイマックス映画と、巨大なドーム形スクリーンを使うオムニマックス映画が交互に利用できるようにした世界初の映画館で、人間の体の不思議な動きを見せる「限界への挑戦」などの作品を上映している。

(住所は100 Laurier St., Hull, Quebec J8X 4H2)

花博を彩る

アイマックスの新映像システム

巨大なスクリーンと立体音響で知られるアイマックス社 (本社トロント) のさらに新しい未来映像が、9月末まで大阪で開かれている「国際花と緑の博覧会」で話題を呼んでいる。

世界初公開の画期的なドームスクリーンを使った立体フルカラー映像システム「IMAX SOLIDO™」、正面と床下に設けた巨大スクリーンによる映像システム「IMAX MAGIC CARPET®」、そして1986年のバンクーバー万博で初公開された立体映像技術を高度に改良した新しい「IMAX® 3D」映像システムがそれである。

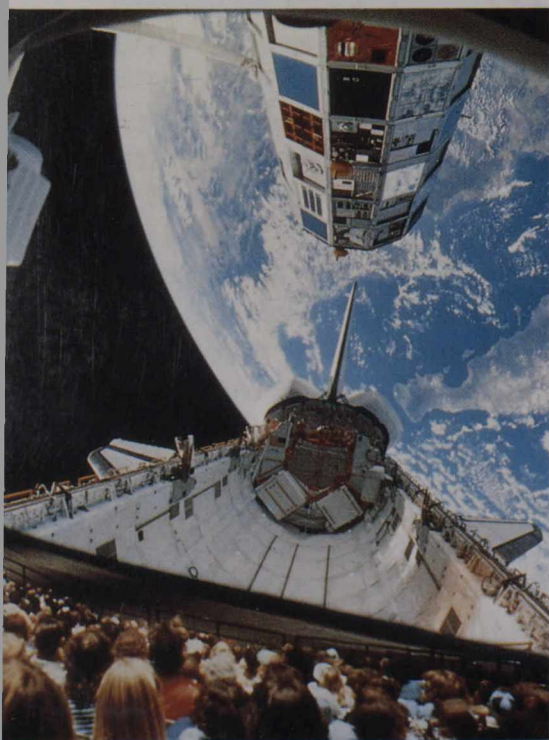
「IMAX SOLIDO™」(富士通パビリオン) は、コンピューター・グラフィックと実写による高精細なフルカラー立体映像「ユニ

バース 2 - 太陽の響」が、圧倒的な臨場感で迫る。

「IMAX MAGIC CARPET®」(三和みどり館) は、正面と床にセットされた2面の巨大なスクリーンに「フシギな不思議な蝶の旅」を上映する。

サントリー館では、高度に改良されたIMAX立体カラー映像と立体音響でカナダ西部の大自然と野性動物を映しだす。またハートピア：空と筏のパビリオンでは、アマゾン流域の熱帯雨林やそこに生息する動植物が、巨大なスクリーンに特殊なアングルから映写される。

(アイマックス・システムズ (ジャパン) 株式会社 〒102 東京都千代田区一番町22-1 一番町セントラルビル102B TEL.03-234-8061)



アイマックス映画「The Dream Is Alive」の上映場面 (写真提供=アイマックス・システムズ・ジャパン)。